

戦後 80 年 ヒロシマ平和学習の旅



レポート



—あの日の出来事を風化させず、

次の世代へと語り継いでいく使命が

私達には、あります—

戦後80年の節目を迎え、当時のことを知らない若い世代も多くなってきました。過去の惨禍を繰り返さないために、平和を尊重する気持ちを持続することが必要です。

8月5日から8日に広島市で行われた平和記念式典などを含む「平和学習プログラム」に「ヒロシマ平和学習の旅」として、名寄市の中学校から3人が参加してきました。

日程

8月5日 移動

8月6日

午前 平和記念式典 参加
全国こども平和
サミット 参加

午後 広島城 見学
原爆ドーム 見学
広島平和記念資料館
見学

8月7日

午前 平和学習の集い 参加

午後 厳島神社 見学

8月8日 移動

全国こども平和サミット

被爆体験をした方の講話の中で、原爆で一瞬にして街が破壊された様子やほんのわずかな差で生死の差があったという話があり、改めて原爆の恐ろしさや悲惨さを認識しました。また、各団体の平和への取り組みの発表も大変貴重な経験となりました。



平和学習の集い

ユース・ピース・ボランティアによる原爆被害の概要説明や全国から集まる子どもたちとグループ・ディスカッションを行いました。全国の子どもたちとの意見交換は、各地での戦争の被害の様子や平和の大切さなどについて

学ぶ機会となり、平和について考える一日となりました。



平和の旅で得たもの

学習してきたことや平和への思いを、感想文にまとめました。掲載した感想文は要約したものです。市ホームページで全文を読むことができます。ぜひ生徒たちの素直な思いをお読みください。

問い合わせ

総務課総務係（名寄庁舎3階）

☎01654③2111

（内線3329）



名寄中学校 2年

井上 いのうえ もも

「あの日の出来事を風化させず、次の世代へと語り継いでいく使命が私たちにあります。」この言葉は、私が今回参加した平和記念式典で「平和への誓い」をした子どもたちが考えた文章の一部です。この言葉の中には考えた子どもたちの平和への意志が強くあらわれていると思います。この旅を通しての一番心に残った言葉です。



名寄中学校

3年

梅野 うめの 悠貴 ゆうき

改めて核や兵器の恐ろしさを考えました。日本が原子爆弾の恐ろしさを伝えていくという活動をすることによって悲惨な戦争がなくなっていく、みんな手を取り合える世界になっていくってほしいと、この研修を通して考えました。



名寄中学校

3年

山崎 やまざき 蓮 れん

今回、実際に広島を訪れ、被爆者の話も聞けて、インターネットや教科書だけでは学べないことがたくさんありました。日本から話し合いによる平和を広げていくべきと考えました。この旅は、自分の人生に関わる大きなものを変えた旅でした。